



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 シーティーエス 上場取引所 東
 コード番号 4345 URL http://www.cts-h.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横島 泰蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務部長 (氏名) 北原 巻雄 TEL 0268-26-3700
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,861	8.6	1,007	23.5	961	19.8	647	17.5
2020年3月期第2四半期	4,478	4.4	815	9.4	802	10.4	551	11.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 655百万円 (20.0%) 2020年3月期第2四半期 545百万円 (10.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	15.17	—
2020年3月期第2四半期	12.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,600	8,232	65.3
2020年3月期	11,720	7,842	66.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 8,232百万円 2020年3月期 7,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.00	—	6.20	12.20
2021年3月期	—	6.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	6.70	12.70

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	4.7	1,920	3.6	1,790	△1.6	1,230	△1.4	28.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	43,400,000株	2020年3月期	43,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	720,845株	2020年3月期	720,845株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	42,679,155株	2020年3月期2Q	42,679,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、業績予想の修正につきましては、東京証券取引所の上場規程に基づく開示義務を踏まえた上で、原則として、直近の予想値に対して、連結会計年度の決算値が下記の範囲を超えない限りにおいては開示を行わない方針です。

- ・ 連結売上高：見込まれる増減率が10%未満の場合
- ・ 連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益：見込まれる増減率が30%未満の場合

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の当社グループの主要顧客である土木・建築業界を取り巻く環境につきましては、災害復旧・防災等の対応のため、公共投資は底堅く推移した一方、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等については、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、2021年3月期から2023年3月期までの3ヵ年を対象にした中期経営計画を策定いたしました。当社グループは建設ICTの専門企業として、その中核となる中期経営方針に下記の4項目を掲げるとともに、2023年3月期において達成すべき目標として3項目を設定しております。これらの方針を基に、目標を達成すべく事業を着実に展開してまいりました。

<中期経営方針>

- ・地場ゼネコンから広域ゼネコンへターゲット拡大
- ・土木系から建築系へ対象顧客の業種拡大
- ・システム・測量計測事業を中心とした独自商品・サービスの開発強化及びサポートの充実
- ・レンタルを基本とした営業・サポート体制の構築及び全国展開の推進

<中期経営目標>

- ・主力商品・サービス売上高（※） 80億円超（2020年3月期対比 50%超）
- ・営業利益率 20%超
- ・ROE 20%超

※ 主力商品・サービスは、繰り返し利用が多い「レンタル」とその「付随商品・サービス」及び「内製サービス」により構成されています。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力商品・サービスの営業に注力した結果、既存顧客を中心に受注が順調に推移し、売上高は4,861百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

利益面でも、付加価値の高い主力商品・サービスの売上高が増加したことにより、売上総利益が2,170百万円（前年同期比12.6%増）と順調に推移しました。また、販売費及び一般管理費は、主に測量計測事業における営業活動の効率化及びセミナー活動の休止等により減少した一方、処遇改善等により人件費が増加したことから、1,163百万円（前年同期比4.5%増）となりましたが、売上総利益の増加により営業利益は1,007百万円（前年同期比23.5%増）となりました。その結果、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益においても前年同期を上回る実績となりました。

なお、主力商品・サービスについては、主に既存顧客によるリピート利用が伸長し、レンタル稼働数が増加したことに伴い、売上高は2,831百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の実績は、下記表のとおりとなりました。

▼当社グループ

(単位：百万円、%)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
売上高	4,478	4,861	8.6
営業利益	815	1,007	23.5
営業利益率	18.2	20.7	2.5pt
経常利益	802	961	19.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	551	647	17.5

▼主力商品・サービス

(単位：百万円、%)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	前年同期比
売上高	2,462	2,831	15.0

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<システム事業>

当事業につきましては、クラウドストレージサービスを中心にモバイル回線・入出力機器（MF P・ネットワークカメラ等）が一体となった、業界に特化したITインフラサービスのレンタル等に関して、主力商品・サービスを中心とした商品力の強化及び営業に注力した結果、既存顧客を中心に受注が順調に推移し、当事業の売上高は2,218百万円（前年同期比16.8%増）となりました。利益面は、中期経営計画に基づく積極的な人員増加策による人件費の増加などにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。主力商品・サービス売上高の伸長により売上総利益が増加し、セグメント利益（営業利益）は585百万円（前年同期比33.0%増）となりました。

<測量計測事業>

当事業につきましては、測量機器及び計測システム等のレンタル・販売に関して、主力商品・サービスの営業に注力した結果、既存顧客を中心にワンマン測量システム・締固め管理システム「Geo-Press Cloud」等レンタル受注が順調に推移し、当事業の売上高は1,759百万円（前年同期比2.1%増）となりました。利益面は、レンタル売上高の伸長による売上総利益の増加と、営業活動の効率化及びセミナー活動の休止等による販売費及び一般管理費の減少により、セグメント利益（営業利益）は305百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

<ハウス備品事業>

当事業につきましては、建設現場事務所用ユニットハウス及び什器備品等のレンタル・販売に関して、自社レンタルの受注が堅調に推移し、当事業の売上高は563百万円（前年同期比4.1%増）となりました。利益面は、レンタル売上高の伸長による売上総利益の増加等により、セグメント利益（営業利益）は91百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

<その他>

その他につきましては、売上高は319百万円（前年同期比2.0%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は24百万円（前年同期比38.7%減）となりました。

▼セグメント

（単位：百万円、%）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）	前年同期比
システム事業			
売上高	1,900	2,218	16.8
セグメント利益	440	585	33.0
セグメント利益率	23.2	26.4	3.2pt
測量計測事業			
売上高	1,723	1,759	2.1
セグメント利益	250	305	21.9
セグメント利益率	14.6	17.4	2.8pt
ハウス備品事業			
売上高	541	563	4.1
セグメント利益	84	91	7.9
セグメント利益率	15.6	16.2	0.6pt
その他			
売上高	313	319	2.0
セグメント利益	39	24	△38.7
セグメント利益率	12.6	7.6	△5.0pt

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は12,600百万円となり、前連結会計年度末と比較して880百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が171百万円、その他流動資産が286百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債は4,368百万円となり、前連結会計年度末と比較して490百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が209百万円、その他流動負債が224百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は8,232百万円となり、前連結会計年度末と比較して390百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益647百万円を計上した一方で、剰余金の配当264百万円を行ったことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は65.3%となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は5,708百万円となり、前連結会計年度末と比較して171百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は930百万円（前年同期は453百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益961百万円、資金支出を伴わない費用である減価償却費410百万円による資金の獲得に対して、法人税等の支払額410百万円が充当されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は119百万円（前年同期は18百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出98百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は639百万円（前年同期は623百万円の使用）となりました。これは、リース債務の返済による支出374百万円及び配当金の支払額264百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第2四半期連結会計期間の業績は計画に対して好調に推移しておりますが、当社の方針に則り、現時点で連結売上高について10%以上、あるいは連結営業利益、連結経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については30%以上の変動が見込まれないため、2020年4月30日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

ただし、上記の変動が見込まれた場合は、直ちに開示を行ってまいります。

また、配当予想につきましても、当社において定める利益配分に関する基本方針に則り、業績に連動した配当を行ってまいりますので、連結業績予想と同様、変動が見込まれた場合は、直ちに開示を行ってまいります。

なお、下半期については、次のとおり取り組んでまいります。

＜システム事業＞

クラウドストレージサービス「ファイルフォース」の機能をますます強化するとともに、クラウドストレージサービスを軸としたITインフラサービスの展開を推進してまいります。あわせて、ITインフラサービスに対する需要増大に応じていくために、期中においてレンタル体制強化に向けた投資を行ってまいります。

＜測量計測事業＞

上半期に引き続き、ワンマン測量システム・締固め管理システム「Geo-Press Cloud」等のレンタルを推進してまいります。また、ワンマン測量システム・締固め管理システム「Geo-Press Cloud」をはじめとしたレンタルをより拡大していくために、システム事業とあわせてレンタル体制強化に向けた投資を行ってまいります。

＜ハウス備品事業＞

上半期に引き続き、レンタル資産の効率的な運用による収益改善を図ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,536	5,708
受取手形及び売掛金	1,630	1,746
たな卸資産	427	551
その他	233	519
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	7,822	8,521
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	1,883	2,005
その他（純額）	1,486	1,555
有形固定資産合計	3,370	3,560
無形固定資産	52	62
投資その他の資産		
その他	476	458
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	475	456
固定資産合計	3,898	4,079
資産合計	11,720	12,600
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464	674
未払法人税等	361	261
その他	1,660	1,884
流動負債合計	2,487	2,820
固定負債		
リース債務	1,216	1,350
その他	173	196
固定負債合計	1,390	1,547
負債合計	3,878	4,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	425	425
資本剰余金	2,399	2,399
利益剰余金	5,457	5,840
自己株式	△460	△460
株主資本合計	7,821	8,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20	28
その他の包括利益累計額合計	20	28
純資産合計	7,842	8,232
負債純資産合計	11,720	12,600

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	4,478	4,861
売上原価	2,549	2,690
売上総利益	1,928	2,170
販売費及び一般管理費	1,112	1,163
営業利益	815	1,007
営業外収益		
受取配当金	1	0
受取地代家賃	1	1
その他	1	2
営業外収益合計	3	4
営業外費用		
支払利息	16	19
持分法による投資損失	—	30
営業外費用合計	16	50
経常利益	802	961
特別利益		
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	811	961
法人税、住民税及び事業税	259	313
法人税等調整額	0	0
法人税等合計	260	313
四半期純利益	551	647
親会社株主に帰属する四半期純利益	551	647

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	551	647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	7
その他の包括利益合計	△5	7
四半期包括利益	545	655
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	545	655
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	811	961
減価償却費	400	410
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2	△0
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	16	19
投資有価証券売却損益（△は益）	△9	—
持分法による投資損益（△は益）	—	30
売上債権の増減額（△は増加）	△95	△117
たな卸資産の増減額（△は増加）	225	△124
仕入債務の増減額（△は減少）	△524	251
その他	△82	△70
小計	739	1,360
利息及び配当金の受取額	1	0
利息の支払額	△16	△19
法人税等の支払額	△270	△410
営業活動によるキャッシュ・フロー	453	930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14	△98
無形固定資産の取得による支出	△27	△21
投資有価証券の売却による収入	25	—
その他	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△367	△374
配当金の支払額	△255	△264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△623	△639
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△188	171
現金及び現金同等物の期首残高	6,243	5,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,054	5,708

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,900	1,723	541	4,165	313	4,478	—	4,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,900	1,723	541	4,165	313	4,478	—	4,478
セグメント利益	440	250	84	776	39	815	—	815

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	システム 事業	測量計測 事業	ハウス備品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,218	1,759	563	4,542	319	4,861	—	4,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,218	1,759	563	4,542	319	4,861	—	4,861
セグメント利益	585	305	91	983	24	1,007	—	1,007

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、道路標示及び標識の工事並びに安全用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。